

締固め用機械を起因物とするはさまれ巻き込まれの死亡災害発生事例（1999-2020年）

発生年	発生月	時間	死傷災害発生事例	小業種コード	労働者規模
1999	2	10 ～ 11	タイヤローラーの散布水を補給するためタイヤローラーに乗って前進させたときに、休憩道具の後片付けを行っていた者を前輪でひいた。	30106	30 ～ 49
1999	2	15 ～ 16	首都高速高架橋直下の舗装工事現場において、アスファルト敷設完了箇所の締め固め作業を行っていた後進中のタイヤローラーの後輪に、アスファルト端部の型枠取り外し作業に従事していた者がひかれた。	30106	30 ～ 49
1999	2	0 ～ 1	駐車場の舗装工事において、舗装面手直しに使用するガスバーナーを運搬してコンバインドローラーの後方側を横断中に後進してきたローラーに轢かれた。	30201	10 ～ 29
1999	3	16 ～ 17	道路改良工事において、当日の作業が終了したので、ロードローラーを運転して機械駐車場所に向ってロードローラーを後退させていたときに、運転席から転落して車体と右後輪との間に頸部を挟まれた。	30106	10 ～ 29
1999	4	19 ～ 20	ハンドローラーで表層の転圧仕上げ作業を行なっていて、方向転換をしたところへ後ろのスロープをタイヤローラーが下がってきてひかれた。	30110	10 ～ 29
1999	8	17 ～ 18	下水道管布設工事現場において、管布設後に手作業で舗装作業を行っていたところ、後退してきた車両系建設機械(締固め用機械)にひかれた。	30110	10 ～ 29
1999	9	16 ～	道路拡幅工事において、路盤用砂利の転圧作業を振動ローラー(重量4t)を用いて行っていたところ、前方にいた者に気付かずひいてしまった。	30106	30 ～

		17			49
1999	12	10 ～ 11	ローラー(重量10トン)をトラックに積み込むため、トラックのセルフロー ダー(アウトリガーのようなもの)を伸ばし前方を持ち上げた状態で、積み込 み、ローラの運転者がサイドブレーキをかけ運転席を離れたときローラーが 動き出し、トラックの後方にいたトラック運転者が地面とローラーにはさま れた。	40301	1～ 9
2000	5	14 ～ 15	空港用地造成工事において、滑走路周辺の道路工事のためタイヤローラー(総 重量8605kg)で整地作業を行っていたときに、その後方でスコップを使い整地 作業をしていた者をひいた。	30106	50 ～ 99
2000	9	14 ～ 15	ガソリンスタンド建設工事において、土間に敷く砕石を均す作業をしていた ときに、締め固め作業をしていたローラーとキャノピー鉄骨との間に挟まれ た。	30201	1～ 9
2000	12	14 ～ 15	町道の道路舗装工事において、道路の整地転圧作業中、道路沿いの川岸で立 ち小便を済ませて道路側へガードレールを乗り越えたときに道路側に転倒 し、そこへコンバインドローラー(機体重量2.3t)が後退してきて頭部をひか れた。	30106	1～ 9
2001	2	13 ～ 14	街路の築造工事で、路盤の整地のため4tコンバインドローラーで作業中に、 バックしたとき近くの作業員をタイヤローラーで左足から胸部にかけてひい た。	30106	1～ 9
2001	3	16 ～ 17	県道補修工事において、タイヤローラー(質量8.5t)で転圧作業を実施してい てタイヤローラーを後退させたときに清掃(アスファルトのならし)作業に従事 していた者がタイヤローラーの後輪にひかれた。	30106	1～ 9
2001	11	16 ～ 17	駐車場の舗装工事において、舗装区画外にこぼれたアスファルト合材をダン プトラックに積み込む作業中に、タイヤローラーが減速しながら後退してき たので退避しようとしたときにタイヤローラーが急加速したため逃げ切れず タイヤローラーにひかれた。	30199	30 ～ 49
		16	国道の舗装工事において、施工した舗装の温度測定をしゃがんで行っていた		10

2001	5	～ 17	ところ、バックしてきたタイヤローラ(機体質量8.5t)にひかれた。	30106	～ 29
2002	3	～ 17	16 農業集落排水工事において、県道を復旧させるために路盤材で埋め戻しを行 い振動ローラー(機体質量3t)で路盤の締め固め作業中、路盤材の敷きなら し作業を行っていた者が後退してきた振動ローラーに頭部を轢かれた。	30106	30 ～ 49
2002	3	～ 11	10 舗装補修工事現場で、道路中央付近で路面に散乱していたアスファルト骨材 をほうきで掃いていたところ、後ろからきたマカダムローラーに轢かれた。	30106	30 ～ 49
2002	2	～ 17	16 町道の舗装完了後にコンバインドローラーで仕上げ転圧作業中、後進したコ ンバインドローラーが片付けのため歩行していた者をローラーで轢いた。	30106	10 ～ 29
2002	10	～ 9	8 8 タイヤローラー(機体質量8.5t)のエンジンが作動しないので、同僚が4t ダンプトラックに乗ってワイヤロープで両方の車両をつなぎ、ダンプでタイ ヤローラーを牽引しながらエンジンを作動させたところエンジンがかかった 9 ので、タイヤローラーから降りてつないでいたワイヤロープを外していたと きに、無人のタイヤローラーが前進してダンプとの間に頭部を挟まれた。	30201	10 ～ 29
2002	9	～ 12	11 賃貸アパートの新築工事において、駐車場のアスファルト舗装材の締め固め のため、コンバインド・ローラー(機体質量3.3t)を後進させていたときに 12 ローラーの右後方にいた者を轢いた。	30201	10 ～ 29
2002	12	～ 14	13 道路新設工事において、碎石を敷き終わってローラーで転圧作業中に、ロー ラーの後方にいた者をローラーで轢いた。	30106	1～ 9
2003	1	～ 11	10 1tローラーで道路の舗装作業中、後方よりタイヤローラーがバックしてきて ひかれた。	30106	10 ～ 29
2003	9	～	13 道路工事の土質試験用サンプル採取のため、同僚と転圧作業場所に立ち入っ て土砂のサンプルをかがんだ状態で採取していたときに、背後から後進で走	170209	1～ 9

		14	行してきたタイヤローラーにひかれた。		
2003	12	16 ～ 17	道路工事において、歩道路盤（砂利敷）の締め固め作業を一時中断し重機オペレーターがコンバインドローラー（機体質量2.3t）から降りようとしたときに、防寒服の袖が前後進レバーに引っかかったため後進し、ローラーの約73cm後方で路盤状況を確認していた者をひいた。	30106	10 ～ 29
2003	12	8 ～ 9	土木工事において、勾配がある路上に駐車中のタイヤローラーの逸走防止措置が不十分でひかれた。	30106	10 ～ 29
2004	5	15 ～ 16	道路拡幅工事現場において路盤を振動ローラーで転圧作業中に、振動ローラーと停車中のダンプカーに挟まれた。	30106	10 ～ 29
2004	10	14 ～ 15	工事現場で使用していたタイヤローラーを、運転して大型トラックの荷台に後進で積み込んでいたところ、トラック荷台前方のフレームと後進したタイヤローラーの間に挟まれた。	40301	10 ～ 29
2004	1	0 ～ 1	ローラーにて転圧作業中、ローラーを運転していた被災者が機体に引っ掛かって引きずられ、コンクリートブロック壁とローラーの側面に挟まれた。	30199	30 ～ 49
2004	6	0 ～ 1	道路工事現場で、運搬車にタイヤローラーを積み込む作業で、被災者が積み込んだタイヤローラーを運搬車にワイヤロープで固定する作業がほぼ完了し、タイヤ止めを行おうとした時に固定ワイヤロープが切断し、タイヤローラーと運搬車の間に挟まれた。	30106	1～ 9
2005	3	10 ～ 11	舗装工事現場において、タイヤローラーにより路盤を転圧するため、前進及び後退の動作を繰り返していた際に、後方にて測量作業中の被災者に気付かず、そのまま後退させたため、タイヤローラーの後輪でひいた。	30199	50 ～ 99
2005	2	0 ～ 1	道路舗装工事現場においてアスファルト舗装作業中、後進してきたタイヤローラーにひかれた。	30106	1～ 9

2005	11	16 ～ 17	河川敷の走路整地工事において、走路整地作業を行っていたところ、地盤締固用機械のローラー車にひかれた。	170201	1～ 9
2005	7	13 ～ 14	アスファルト道路上の土砂を洗い流すため、タイヤローラーの後方で、散水用ホースにて歩行しながら散水作業を行っていたところ、後進してきた当該タイヤローラーにひかれた。	30199	10 ～ 29
2006	4	16 ～ 17	道路拡幅舗装工事において、被災者が作業を終了しハンドガイドローラーを保管場所へ移動していたところ、後退中の機体重量3.3トンのタイヤローラーに轢かれた。	30106	1～ 9
2006	11	10 ～ 11	道路の修繕工事において、被災者は交通誘導を行っていたところ、被災者の背面方向から後進してきた締固め用機械（搭乗式振動ローラー、機体重量2.3t）にはさまれた。	170201	50 ～ 99
2006	11	10 ～ 11	新築工事現場において、フィニッシャで敷き詰められたアスファルトをタンDEMローラー（機体荷重3.52トン）で転圧作業中、被災者がタンDEMローラーの運行経路内に入り、後進してきたタンDEMローラーにひかれた。	30201	50 ～ 99
2008	2	15 ～ 16	ダンプトラックの誘導をしていた作業者が、盛土部分の斜路（最大勾配8度）の下部で無人のタイヤローラーと無人で停止していたブル・ドーザーが接触しているのを確認したため、当該作業者はタイヤローラーのエンジンを停止し、サイドブレーキをかけた後、ブル・ドーザーを後退させたところ、タイヤローラーの前方下部でひかれて死亡していた被災者を発見した。	30106	100 ～ 299
2008	2	15 ～ 16	道路舗装工事現場で、マカダムローラーの施工写真を撮るため、稼働中のマカダムローラーとタイヤローラーの間に入り、タイヤローラーのすぐ後でしゃがんで写真を撮っていたところ、後進してきたタイヤローラーにひかれた。	30106	1～ 9
2009	2	10 ～ 11	砂利をローラーで均す作業中、被災者がローラーの進行方向に立ち誘導していたところ、被災者が停止の合図をしたにもかかわらず、ローラーが止まらず前進し、被災者をひいた。	30109	10 ～ 29

2009	11	9 ~ 10	送水管布設工事現場において、作業開始後、被災者は現場から約100m離れた空地に置いていたローラーを一人で取りに行った（ガードマンが目撃）。しばらくして、ガードマンが空地に人影がないことを不審に思い、責任者に連絡、責任者が空地に行ったところ、ローラーの下に倒れている被災者を発見した。なお、発見時には、ローラーのエンジンはかかっていた。	30110	1~ 9
2010	6	10 ~ 11	公園設備の工事で、現場に到着し、トラックの荷台からローラーを下ろすため、鋼製の道板を設置し下ろしていたところ、道板上にて体勢を崩し仰向けに転倒。その上をローラーが通過して轢かれた。病院に救急搬送されたものの、死亡した。	30199	10 ~ 29
2010	10	12 ~ 13	県道の舗装修繕工事において、片側交互通行規制で表層工を施工中、交通誘導員が仕上げ転圧作業中の後退してきたタイヤ・ローラーの後輪に全身を轢かれ即死したもの。タイヤ・ローラーの運転者が後方をよく確認していなかった。	170201	30 ~ 49
2010	11	10 ~ 11	タイヤローラーで道路舗装作業中、道路長20m、片側幅3.0mの範囲でアスファルトの仕上転圧を行っていたところ、被災者が転圧領域に立ち入って道路中央部に敷いてあった敷居角材を取り外していた際、後退してきたタイヤローラーに下半身を轢かれ死亡した。	30106	1~ 9
2011	8	15 ~ 16	舗装修繕工事現場において、プレートコンパクター（小型締め固め振動機）を使用して舗装の継ぎ目（始端及び終端）部分の予備転圧作業を行っていた被災者が、予備転圧する際にプレートコンパクターとアスファルト舗装面との間に入れる敷板を手を持って次の施工箇所へ移動中、後退してきたコンバインド振動ローラー（前輪がローラー、後輪がゴムタイヤである締め固め用の車両系建設機械、重量3.6トン）に轢かれ、死亡したもの。	30106	10 ~ 29
2011	10	14 ~ 15	トンネル舗装工事現場において、転圧作業を行っていたタイヤローラーが、碎石を運搬してきたダンプトラックを通すため、後進で進路を変えた際、付近でトンネル床盤端をスコップで碎石のならし作業をしていた労働者を轢いたもの。	30106	1~ 9
			被災者ら2名は、タイヤローラーを使用して中学校のグラウンドの整備を行っ		

2013	5	11 ～ 12	ていたが、グラウンド上で被災者があお向けで倒れている状態で発見された。 なお、被災者が運転していたタイヤローラーは、被災者から約18m離れた位置で、フェンスにぶつかる状態で停車していた。	60209	50 ～ 99
2013	8	15 ～ 16	道路舗装工事作業中、現場内で作業しているタイヤローラーと一般車両が接触しないよう誘導していた被災者は、現場に隣接したドラッグストア店舗駐車場から出てきた一般車両をよけるためタイヤローラーの後進方向に立ち入り、何らかの原因でうつぶせに転倒した際、タイヤローラーが後進して被災者の左半身に乗り上げた。	170201	100 ～ 299
2014	11	11 ～ 12	埋設電線管路の撤去工事中、地盤の転圧作業の際、地面に敷設する砕石を積んだダンプカーを作業帯内に停車させるため、転圧作業を行っていたローラーがバックで移動したところ、作業帯の先の交差点で警備をしていた被災者が轢かれ、死亡した。	170201	1～ 9
2014	8	16 ～ 17	工事現場にて、舗装工事を行うために使用していたタイヤローラーに轢かれ、死亡にした。	30106	30 ～ 49
2014	6	15 ～ 16	被災者が、工事の記録写真を撮影していたところ、アスファルトを固めるためのタイヤローラーがバックし、被災者を轢いた。	30106	10 ～ 29
2014	4	11 ～ 12	振動ローラーで路面を転圧する作業中、振動ローラーと地山に挟まれた状態の被災者が発見された。	30106	1～ 9
2015	8	13 ～ 14	農道を砂利転圧作業していたロードローラーのオペレーターが、後方にくぼみがあるのを見つけ、くぼみに砂利を詰めるためにローラーから降車した。降車の際にギヤをニュートラルにして降りようとしたところ、ギヤに体の一部が触れてしまいローラーが無人の状態でも前進してしまった。ローラーの約7m前方にいた現場監督は気が付かずに無人で前進してきたローラーにひかれた。	30106	1～ 9

2017	12	10 ～ 11	新築マンション外構の駐車場舗装工事において、タイヤローラーによりアスファルトの転圧を行っていたところ、後進してきたタイヤローラーに轢かれて死亡した。	30201	10 ～ 29
2018	5	14 ～ 15	レストランの新築工事現場における駐車場舗装を行うため、車両系建設機械であるローラーを使用してアスファルトの転圧作業を行っていたところ、同作業を一人で行っていた運転者（被災者）が、同ローラーを後進させたまま運転席を離れ、同ローラーの下敷きになったというもの。被災者は、外傷性ショックにより、1時間後に死亡した。	30201	1～ 9
2019	2	14 ～ 16	自動車道IC改築工事現場において、被災者が2.4tコンバインドローラーを運転し、前後方向に傾斜する路盤を後進にて転圧作業中、運転席の椅子が車体から外れて椅子ごと車体右側に投げ出され、前部鉄輪に轢かれたもの。病院に搬送されたものの、被災から約3時間後に死亡した。	30106	1～ 9
2020	10	12 ～ 14	道路舗装復旧工事において、アスファルト舗装の締固めを行っていたコンバインドローラーに被災者が轢かれた。	30106	10 ～ 29
2020	5	18 ～ 20	道路舗装工事において、交差点手前の矢印標示につき、被災者がしゃがんでチョークにてマーキングをしていたところ、アスファルトの締固めをしていたタイヤローラーが後進し、被災者が轢かれたもの。	30106	10 ～ 29

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.aspx](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx)(職場のあんぜんサイト)

Return to：[https://www.jisha.or.jp/international/topics/202207\\_01.html](https://www.jisha.or.jp/international/topics/202207_01.html)